最先端技術の交流 ／ ロボット大賞やサミットは必見!!

見どころはこれだ！

ロボット技術に対する関心は年々高まっている。「2011国際ロボット展」では、国内外の最先端ロボット技術を見聞きすることができるのはもちろんのこと、併催行事も見逃せない。

●併催企画

今回の併催企画は大学や研究機関による最新のロボット技術と製品を展示・実演する「RT（ロボットテクノロジー）交流プラザ」のほか、経済産業省と日本機械工業連合会が実施している「第4回ロボット大賞」で受賞したロボットの展示・実演を行い、国内の優れたロボット技術と製品を見ることができる。また、東日本大震災を機に役割が高まっている災害対応・建設用ロボットを紹介するゾーンも用意している。

12日に2足歩行ロボットのバトルを行う「ROBO－ONEエンターテイメントIN2011国際ロボット展」が行われ、ロボットによるダンス競技大会「ROBO DANCE」なども実施する。また同日に普段産業用ロボットに触れる機会が少ない高校生を対象に、基礎知識の学習から実機の操作などを体感できる「ロボットハイスクール―高校生のための産業用ロボット講習会―」を開催する。

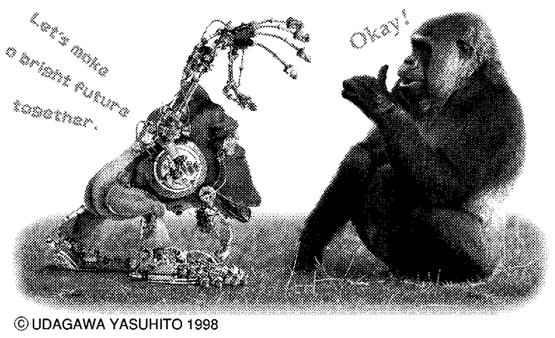
●併催事業

併催事業として9日13時からの「サービスロボットビジネスフォーラム2011―サービスロボットが担う未来―」では、東日本大震災からの復興に向けてサービスロボットが担う役割や可能性について紹介したり、わが国における災害対応ロボットのあり方を探ったりする。

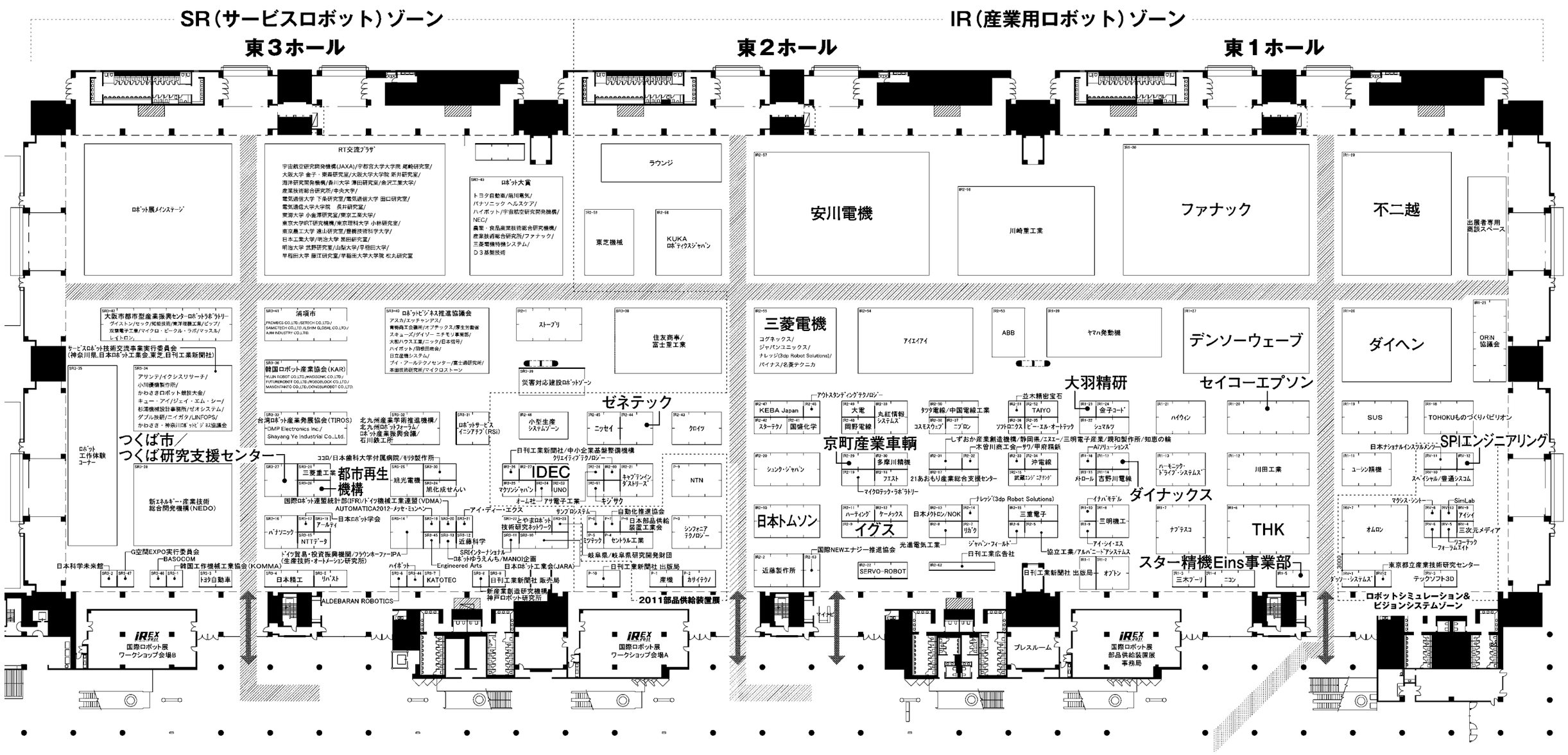
10日15時からの「ロボットサミット」では川崎重工業、ファナック、不二越、安川電機、ABBグループ、KUKA Robotetの主要ロボットメーカー6社とトヨタ自動車、ツムラのユーザーが顔を合わせる。「ユーザーが求めるロボットの実現に向けて」をテーマに、産業用ロボットの用途開拓やロボットビジネスの今後について語り合う。

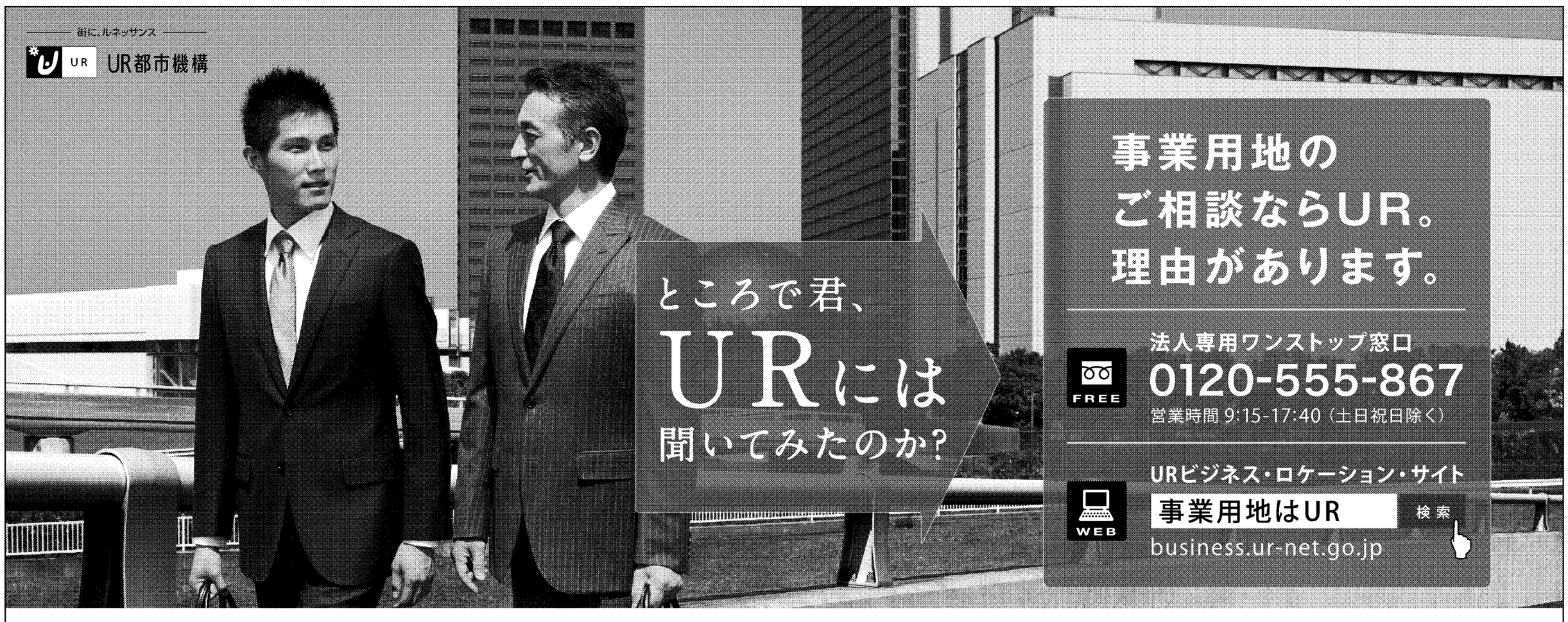
このほか、ロボット関連セミナーをはじめ、NTTデータやダイヘンなど出展企業によるワークショップを多数行い、ロボットの最新技術と情報を発信する。

2011国際ロボット展
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2011
案内図



© UDAGAWA YASUHITO 1998





2000社以上の企業を
サポートしてきた信頼と実績。
事業用地は、UR。
URビジネス・サポート
事業参加・土地活用　住宅用地　事業用地　店舗・事務所　社宅向けUR賃貸住宅